

○「わ」2004年-1号
(通算第11号)
平成4年(1992)11月創刊
平成16年11月30日 発刊

編集発行
編 集

会徳夫人子
友一邦眞悠愛
劍屋井木出新
蔵大土松三中吉
武

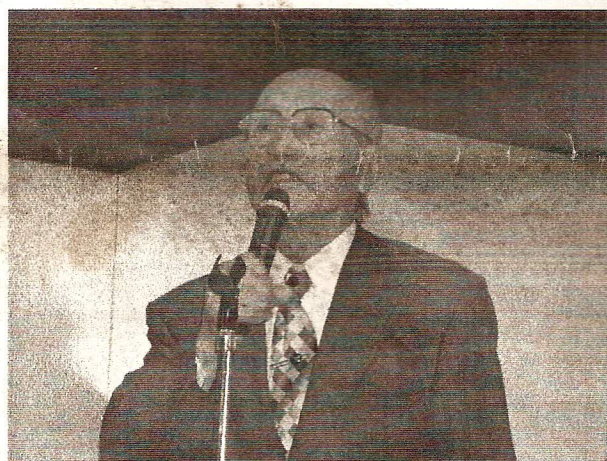


祝 関根先生 米寿を祝う

関根名誉師範の米寿を祝う
会が開催されました

平成十六年五月二十九日(土)
池袋・東武バンクセントホールに
おいて、関根日吉先生の米寿を
祝う会が盛大にとりおこなわれ
ました。

なにとぞ今後も、ますますご
健康にご留意なされ、幾久しく
めでたき御年を重ねれますこと
を心からお祈り申し上げます。



当日は晴天にも恵まれ、全国
各地から剣道部OB・OGがお
祝いにはせ参じ、その数、総勢
九十五名を数えました。
伊藤巖兄(S四十二・大阪)
の司会の元、米寿のお祝いの会
が幕を開けました。



関根日吉先生は、大正五年(1
916年)九月二十四日に鹿児
島県でお生まれになり、御年、
八十八歳をお迎えになられました
。米寿とは「米」という漢字
を分解すると八十八になること
から昔からこう呼ばれ八十八歳

の長寿のお祝いをいたします。
私の学生時代、「いったい師範
は何歳なんだ?」「明治生まれら
しいぞ!」「いや、幕前という
話を聞いたぞ!」「その歳であ
んなに剣が斬れるはずはない」
「実はヨードだ」という噂が飛
び交い、当時は本当のお歳がよ
くわからないものでした。ご本
人にお伺いしてもその時々年
齢が違っていました。また、剣
を交えればその凄みに年齢など
どうでもよいもので、いつしか
本当の年齢など気にしなくなり
ました。

師範、本当に八十八歳ですよ
ね?



めでたい。いや、おめでとう
ございます。理屈抜きにお祝い
申し上げます。



日頃、若い人も及ばぬお元気
なご様子。今でも大学道場へは
毎週稽古をつけていたでいてい
るとのこと、道場のある学生会
館六階へもスタスタ階段を昇ら
れているとか、息もあがらずみ
つちり稽古をつけていたでいて

いるとか、試合や節目の学生行
事にも参加いただき、たまには
カミナリが落ちることも・・、
うかつにもそのようなおめでた
き御年をお迎えとは存じません
でした。

折りあらば、一度ご長命の秘
訣を拝聴し、ご壮健にあやかり
たいと念じております。

師範、本当に八十八歳ですよ
ね？

武蔵大学剣友会第一期の長谷
川勲兄（千葉市）が昭和三十九
年に卒業して以来四十数年、我
が剣友会・剣道部の全員と剣を
交えていただき、今もなおご指
導をいただいております。その
数二百五十名を超え、全国各地
（一部全世界）で活躍しており
ます。剣道を続けている者、事
情があつてできなくなつた者、
西洋のスポーツに鞍替えした者、
それを生業としている者、そろ
そろ始めようかなあと考えてい
る者、止めようかと考えている
者、今それどころではない者、

皆先生に叩かれ、教え諭された
者ばかりです。

私は昭和六十年に卒業し、大
学剣友会の歴史の中で丁度真中
の折り返しの年代に位置します。
第一期の長谷川先輩が在学中に
生まれ、二十年後に大学剣道部
を卒業し社会に出て二十年が経
ちました。ある意味丁度中間に
居ることで世代の両方が見える
ような気がします。学生の気質
も変化しますし、世の中や我々
の生活も変わりました。この世
を去られた方もいらつしやいま
す。永年、剣友会全員に稽古を
つけていただいたことは改めて
凄いと感じます。

他大学や国立錬心館の師範を
努めながらも我が剣道部に体と
心をさいていただいていること
は感謝に耐えません。

関根先生はいつか同窓会の席
でおっしゃてました。「このよう
な会に参加できる君たちは幸せ
者の集まりなんだ。来れない者
の方が多いことを忘れちゃいか
ん。さあ、飲め！」と

会の最後に関根先生からお言
葉をいただきました。「ありがと
う。ありがとう。人生でこんな
嬉しいことはない。」
少し言い過ぎだと思いましたが、
先生の目が少しうるんでお
られ、私は頭を垂れました。

（文責 S六十年 三木真人）



当剣友会の16年度(平成16年7月~平成17年6月)の行事予定は次の通りです。
 機関紙の発行が遅れ、既に終了した行事もありますが、3月に予定の「高段者剣道大会」
 (仮称)等、新しい行事もあります。多数のご参加を期待しております。

年間行事予定

- 7月10日 総会
- ・15年度決算
 - ・16年度予算
 - ・16年度役員
- 8月 機関紙「和」発行
- ・A4判10ページ 約300部
 - ・本年度は1回発行
 - ・掲載記事 15年度決算 16年度予算 新会員紹介 関根先生米寿のお祝
 新部員紹介 その他
- 21~22日 夏の合宿 剣道部、剣友会合同合宿
- 実施場所 沼津市内浦小学校
 ご指導の先生 松森信秀先生(警視庁)
 吉続干城先生(神奈川県警)
 酒井勝先生(警視庁)
 竹内正人先生(警視庁)
 小山潤先生(神奈川県警)
- 12月12日 関東学連剣友剣道大会
- ・「竜王杯」 7名(補2名) 1チーム
 - ・「鳳凰杯」 5名(補2名) 1チームを登録
- 10時開会 慶応大学日吉校舎体育館(東横線日吉駅下車)
- 19日 関根杯・伊能杯 終了後納会 (剣友会忘年会も合同で開催いたします)
- 25日 「冬の合宿」「高段者剣道大会」等、お知らせ発送。
 ・詳細ご希望の方 松井迄ご連絡下さい。
- 1月8日 稽古始・新年会
- 2月 追出稽古・コンパ
- ・入会証、名札(垂れネーム・16年度は3名)贈呈
- 26~27日 「冬の合宿」
- ・実施場所 千葉県館山市 館山高校
 - ・指導の先生 松森信秀先生(警視庁)
 西川清紀先生(警視庁)
 竹内三郎先生(警視庁)
 酒井勝先生(警視庁)
- 3月13日 五六七段剣道大会(仮称)
- その他通年の活動
- ・六段、七段昇段祝
 - ・毎週土曜日稽古会
 - ・弔電
 - ・祝電
 - ・幹事会 2ヶ月に1回開催

役員が変わりました

平成十六年度の役員は次の通りです。

- 会長 土屋一徳(昭三九卒)
- 副会長 水木征二(昭四三卒)
- 監査役 手塚哲男(昭四二卒)
- 幹事長 松井邦夫(昭四六卒)
- 副幹事長 三木真人(昭六六卒)
- 会計幹事 大竹茂雄(昭五六卒)
- 学連幹事 笹川敏広(昭六二卒)

会員は増加会費は減少

今年も二名(高橋良平・青木静)の新
 会員を迎え、僅かながらも会員は増加し
 ておりますが、納入される会費は年々減
 少しております。(十頁収支表参照) 剣
 道部への援助や会の活動に支障が出てき
 そうです。本年の年度会費未納の会員は
 同封の振り込み用紙で納入して下さい。

武蔵大学剣友会連絡係 松井邦夫

☎〇三―三三三五三―五八〇五
 FAX〇三―三三三五八―〇〇八九

平成16年度の活動

去る7月10日(土)に開催された総会で、今年度の活動が承認されました。既にいくつかのイベントが実施されましたが、その中から夏の合宿を紹介致します。

合同夏合宿開催される

今年も、剣友会剣道部合同の「夏の合宿」が、沼津市の内浦小学校体育館で、実施されました。剣道部は、八月十八日から二十二日迄、剣友会は二十一、二日の二日間合流しました。平成十年の夏以来、合同合宿は七回目を迎えました。一昨年、山梨県山梨市で開催した以外は、この沼津で開催されています。本号では、高い技能を持った先生方にお越し戴き、先輩、部員共に集中的にご指導戴いた「夏合宿」の様子や、先生、先輩をご紹介しましょう。

八月十八日から始まった剣道

部の夏合宿の、最終の二日間
剣友会が合流して「夏の合宿」
を開催するのが恒例ですが、
会員の都合に合わせて、何処
から何処まで参加しても、自
由です。

酒井勝先生は、十九日か
ら二十二日迄の四日間、ご指
導して戴きました。毎回の稽
古の中に「一刀流切落し」の
時間を設けて戴きました。太
めの木刀を使って、打ち太刀
の面を切り落とす技の練習は
、面を素早く打つ、腕力の強
化の外に、胆力の錬磨に効が
有ります。九月十四日の明鏡
杯剣道大会では何人かの選手
早速その効果が見られ、男子

は準優勝となりました。

「武蔵の学生は何で、こん
なに素直なんでしょう」が口
癖で、武蔵大学剣道部をこよ
なく愛して戴いております。

神奈川県警の吉統干城先
生と、小山潤先生は、二

十一日のみのご指導でしたが
先輩と関係者だけの特別の稽
古時間を設けて戴きました。

小山先生は、現在県警チー
ムのレギュラーで九月十七日
の「全日本警察剣道大会」に
出場されました。上段の構え
から、鷹が獲物を捕らえる様
な素早さで面、小手を打ち込
みます。小山先生とお稽古を
すれば、大凡の上段は、怖く
有りません。又、先生は、

我々に、上段を攻めるポイン

ト等も親切に教えて下さいま
す。ただ、教えられたからと
言って、先生から一本戴ける
様な、甘いお話では有りませ
ん。先生の精進実り、十一月

三日の全日本剣道選手権大会
に神奈川代表として出場され
ました。

吉統先生は、このお化けの
ように強い小山先生の指導者
です。背筋を張って真つすぐ
攻める正しい剣道を学びたけ
れば、吉統先生にお願いする
ことです。

さて竹内正人先生は、現
在警視庁池上警察署の助教を
されておられます。パワフル
な打ち込みの中に、習練され

た正確さが潜んで射ます。毎
日署員を指導する、プロフェ
ショナルですが、部員からは
兄の様に慕われています。



小池幸夫兄（昭三九卒）は、第二回の合同夏合宿から参加されています。毎回、一番に参加申込みされ、この合宿への意気込みを感じさせられます。

稽古の時の果敢な攻め、面の伸びと裂帛の気合。学生時代を彷彿させます。兄は現在、健康上の都合でお酒を飲みません。夕食が終わるとでれどと酒を飲んで先輩方を尻目に、部屋へ戻られて静かに読書等しておられます。「孤高」を感じさせる先輩です。合宿が終わり我々は東京へ、兄が大阪へと別れる時は、格別の寂寥感が漂います。

藤枝市在住の青木輝男兄（昭四三年卒）は、昨年から参加されました。地元でも養心館道場へ通って稽古されています。朝食前の一時、宿所の前の内浦漁港の岸壁を散策していると一足早く出られた兄に、お会いしました。釣り人の所作を眺めながら、体がつらいので、会社

を退めてしまったこと。そして稽古を再開したら、血糖値や血圧値が安定して来たこと。ご家族のこと。同期の方々の近況と静かに語る青木先輩は、あの学生時代とちっとも変わっていません。武蔵大学剣友会の合宿は、こんなノスタルジックな面を見せてくれるのです。現地沼津の一杉太一兄（平成十二年卒）は、この合宿で年に一度丈、稽古をするのだと話してくれました。秋の合宿にも同じような剣友がいます。清水啓雄兄（昭五一年卒）もそんな一人でした。この二人は、合宿を防具の虫干しに利用しているのでしょうか。それでも近年恒例になった最終日の部員対卒業生の試合は、無難にこなしていたようですが。年に一度の稽古でも、しないよりはましと云う考えもあるようです。兄のためにも沼津の合宿は当分止められせん。

一方稽古の虫の様な女性が、参加されました。酒井先生のお知合いの木下京子さんです。木下さんは、昨年館山で開催した「秋の合宿」に次いで、二度めです。木下さんは、普段は「野間道場」でお稽古をされています。剣道は、小学校から始められ支障の無い限り、毎朝五時には道場に入り、掃除をしたり、お花を生けて、稽古の準備をされると聞いています。

秋の合宿は「冬の合宿」に変更

例年十一月に実施していた秋の合宿は、十七年二月二六・二七日の両日、千葉県館山市の館山高校で開催します。冬でも暖かい南総の地で、警視庁の先生方にご指導戴く予定です。ご家族づれでお花畑の散策も出来ます。詳細は松井迄

OGで一人参加したのが賞雅 技子さん（旧鷺田盟五卒）。二二日の打上コンパに駆けつけ、二二日の午前の合宿最後の稽古に出て帰るといいう忙しいスケジュールでしたが、OGの夏合宿初参加と云うことで、有り難い事でした。稽古を観ていた関根監督は「打ち込みも、攻めも、流石に全日本女子学生の出場経験者だなあ」と感心すること頻りでした。是非、次回はゆっくり参加して戴きたいものです。

その他、横浜の誠愛剣友会の方々、伊豆中央高校の古賀先生と生徒達、大勢の方の参加を得て、今年も元気に合宿を終了しました。紙面の関係でここに紹介出来なかった剣友の皆さんも次の機会にご紹介させて頂いて戴きます。（松井記）

笹岡秀次兄が七段昇段！

昨年10月、笹岡氏七段の昇段を祝って、稽古会と昇段祝賀会が開催された。昇段からは間があいての祝賀会となったが、手塚氏の王将杯優勝祝と併せて、盛大な会が催された。この度、昨年の昇段を振り返り、笹岡兄より寄稿を頂いた。



「思いの儘に」

数十年後、私の孫達が話している声が聞こえる。「笹岡の爺ちゃん、剣道やってたらしい、七段だったらしいよ。」と、独り想像してにんまりとしている。

現在私は五十歳だが、剣道を通じて私の生き方、考え方が形成されて来たと言っても過言ではないと思っている。

○礼儀正しくなければ許せないこと。

○変化を求めず、毎日同じ稽古練の積み重ねが大切な事。

○何よりも『気力』は石をも穿つ事。

等々を剣道から学び、今も学んでいるのである。

更に、もう一つ剣道から得た素晴らしいものがある、それは「何時でも相手の立場になり物事を考えることが出来る人間になれた事」である。

竹刀を交え、相手と目と目を合わせた時、相手の意が何処にあるうとお構いなく打ち込んだとしたら、たとえ気剣体一致の打突であったとしても、相手には伝わらない。

「心を打つ、心を斬る」打突でなければと思うのである。相手の心を読むのではなく、相手の気持ちになる事であると思っている。これが私が剣道から学んだ最も素晴らしいものである。

八歳の時、父に無理矢理剣道場に連れていかれ、始めた剣道、毎日が嫌で泣いてばかりいた。

しかし、剣道を続ける事により、最高の師、関根日吉先生に師事することが出来、また生涯の友となる同期の剣友、そして素晴らしい先輩諸氏と出会うことが出来た。更には、眼に入れたら痛いだろうけど、同じ道場で汗と涙を流す可愛い後輩達、この全てがいつの間にか自分の生き方の「根」になっているのである。

これからも剣道を通じて喜びを感じ続けていきたい。

だからこそ、私の孫達が私の思い出話をする時、「剣道七段の爺ちゃん。」と話すことを想像するととても嬉しいのである。

思いの儘に、生意気な事を書いてしまいました。関根先生、諸先輩、同期剣友への感謝を込めて

五十一年卒

笹岡 秀次

第一回 高段者剣道大会

平成17年3月13日

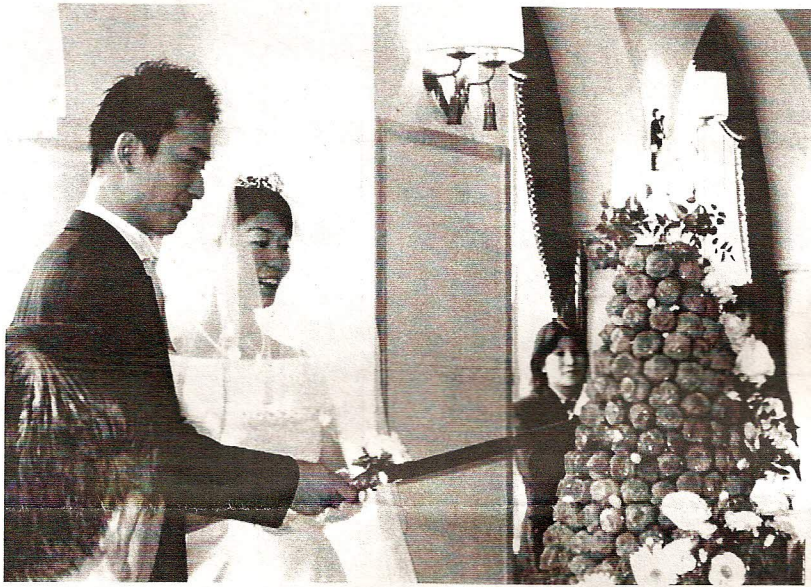
於 武蔵大学錬心館

参加資格 武蔵大学剣友会員で平成17年3月末日に全日本剣道連盟の5段6段、7段を取得して者

参加希望者 松井迄お問い合わせ下さい

おめでとう!!

2003年冬、2004年春、2組の剣友会員が第二の人生をスタートしました。



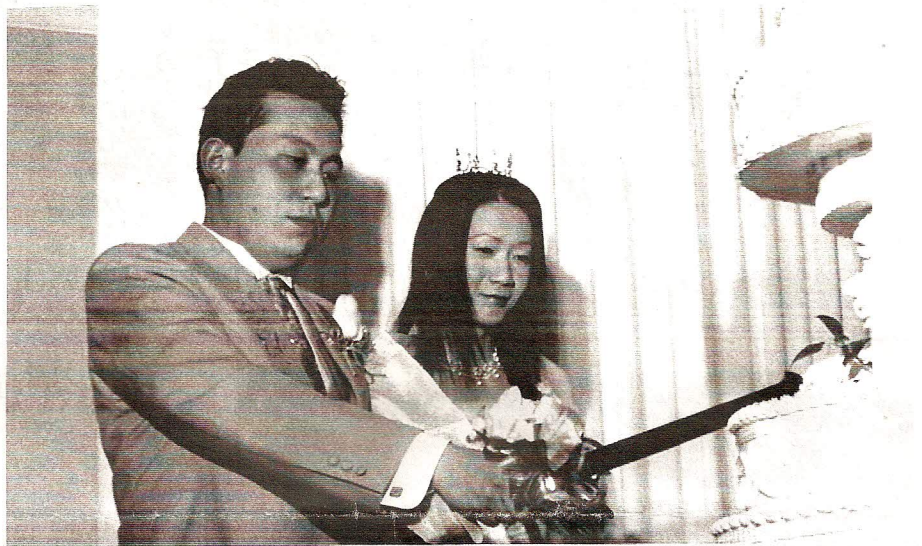
戸賀崎正彦さん(H13卒)と大塚あゆみさん(H14卒)は、当時、学年1年違いの主将とマネージャー。あゆみさんは、剣道部初のマネージャーとして、剣道部に華と喝を与えてくれていました。

主将がちらかす部室を片付けていた頃から早3年。今では、パパになった正彦さんと息子の恵太君、2人の子育て奮闘中です◎

🌸🌸🌸 お幸せに 🌸🌸🌸

高橋洋平さん(H14卒)は、職場(東武百貨店輸入高級菓子)の同僚だった伊藤記子さんと3月に挙式。

どら太鼓かドラえもんか由来はわかりませんが、ドラの愛称で親しまれていた彼は、結婚式には、減量に成功し、顎のあたりも少しスッキリしたかのように見えました。式から半年にしてすでに幸せ太りか、体重限りなく増加中とのこと。



「お詫び」

剣友会の名簿などでお知らせしており、松森先生の御住所に誤りがありました。お詫び、訂正致します。

正しい御住所は左記の通りです。

〒三五二〇〇三二

埼玉県新座市新堀一十一一六

☎〇四二四一九二一六六八二

剣友会員の 結婚に祝電

剣友会規約第十五条の③に
当会員が結婚した場合は祝電
を配信する
が、付加されました。挙式
日、式場、配偶者のお名前等
是非ご連絡を下さい。

武蔵大学剣友会連絡係

松井邦夫

☎〇三―三三五三一五八〇五

剣道部 新入部員が5名

去る四月二十四日、江古田「むらた」に於いて、新入生歓迎コンパが行われました。

当初の新入部員は中澤くん、渡部くんの二名のみでしたがその後、古海くん、中村くん、そして女子の高橋さんを含む三人が入部し、計五名の新入部員を迎えることとなりました。

特に、現在二年女子が二名で女子新人戦への人数が届かず出場が危ぶまれていただけに女子の高橋さんの入部は、嬉しいものでありました。

これで、現在武蔵大学剣道部は、四年生三名、三年生八名、二年生八名、一年生五名の計二十四名となりました。

新入生たちも、皆、部員に打ち解けて、和気あいあいとした雰囲気の中で稽古に励んでいます。後期は関東、四大、そし

て一、二年生は新人戦と試合が続きますが、部員一同、精進していきたいと思っております。

平成16年新入部員紹介

氏名	段位	出身高校
中澤嘉洋	参段	府立甲府
渡部維灯	参段	野立上都
古海史郎	参段	摩多北立
中村浩之	無段	山立塩
高橋由香里	参段	岡立不動

武蔵大学剣道部に入部して

by 新入部員

先輩が神様みたいな部活ではなく、面白い先輩たちでよかったです。またいろいろ先生方やOBの先輩方と稽古が出来るのは幸せです。

中澤嘉洋

最初のうちは先輩方はおろか、同期の人達も恐く感じ、OB方も予想以上に多くて大変驚きました。しかし、練習に慣れるにつれて、少しずつ人と話せるようになってきました。今では、この部活に入部して本当に良かったと思っています。

渡部 維灯

剣道部は練習のときは厳しかったりしますが、稽古後はアットホームな感じですので楽しいです。

古海史郎

自分は中学、高校と剣道部に入っていないなかつたので正直、きつかったです。でも、先輩方やOBの方と練習していく中で、今では剣道が楽しみになっていきます。これからは試合に出れるように、稽古に励みたいと思います。

中村浩之

前期は色々なことに慣れるのに懸命で、自分で自主的に動けませんでした。剣道面でも見直すべきところを多々見付けたので、これらを一一つ改善していきたいです。

高橋由香里



夏の合宿

今年の合宿は8月18日から22日の4泊5日、静岡県沼津市にて行なわれました。今年は初日から監督、2日目から最終日まで酒井先生がご参加下さり、酒井先生には小野派一刀流の形をご指導いただきました。

合宿中には松森先生、竹内正人先生をはじめ、現地の古賀先生や諸先生方、また伊豆中央高校の学生の皆さんにもご参加いただきました。



暑い中の稽古でしたが、静岡の山と海との豊かな自然の中で、多くの先生、OBの先輩方のご指導の元に、実り多き合宿であったと感じます。後期の試合に向け、夏合宿の成果を発揮することの出来るよう、頑張っていきたいと思えます。

第四回明鏡杯

男子準優勝に

去る9月4日、江戸川スポーツセンターにて、第四回明鏡杯争奪剣道大会が行われました。

今回は新たに獨協大学を加え、男子7校、女子6校で2ブロックに分かれ試合を行いました。男子チームは玉川、上智、成城を破り、ブロック1位となりました。決勝では惜しくも立教に敗れ、準優勝となりました。女子はブロック3位の成績となりました。明鏡杯も参加校が年々増加し、にぎやかになって来ました。また新たな参加校を望むとともに、来年はさらに上位を目指したいと思えます。



新幹部紹介

今年度の幹部が以下のとおり決定致しました。今後とも、御指導御鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

- | | |
|---------|---------|
| 主将 | 三年 小倉佑介 |
| 主務 | 三年 佐藤朋樹 |
| 会計 | 三年 渡邊雄太 |
| 女子責任者 | 三年 中沢弥生 |
| 女子主務 | 三年 石井 瞳 |
| OBOG連絡係 | 三年 吉新愛子 |

武蔵大学剣友会 平成15年度 会計報告及び平成16年度予算

決算期変更の為、平成15年度は平成15年3月1日から平成16年6月30日までの16ヶ月間になっております。又、平成16年度は、平成16年7月1日から平成17年6月30日までの1年間です。

平成16年7月10日
武蔵大学剣友会
会計幹事大竹茂雄



項目	H15 決算額	H16 予算額
前年度繰越額	219,165	505,472
収入の部		
口座振替年会費	1,006,000	1,030,000
振込他年会費	300,000	100,000
関根先生 米寿の会 剰余金	247,739	0
全日本出場援助金	255,000	0
預金利息	2	0
小計	1,808,741	1,130,000
収入の部合計	1,808,741	1,130,000
支出の部		
先生方 謝礼他	325,000	225,000
OB合宿及び現役复合宿時先生方謝礼	190,000	210,000
監督年間交通費	50,000	50,000
新人勧誘費援助金 2年分 H15 40,000 H16 36,813	76,813	40,000
复合宿援助金	100,000	0
現役支払OB連絡費他 負担金 2年分 50,000×2	100,000	50,000
OB会扱いOB連絡費他	105,560	80,000
学連剣友会 参加費他	80,000	80,000
学連剣友会 申込金 2年分 H15 40,000 H16 43,000	83,000	43,000
明生ビジネス、郵便為替取扱手数料	31,530	25,000
新聞発行費用	30,000	30,000
复合宿先生方宿泊代他	57,077	60,000
卒業生寄贈及びOB剣友会加入 名札代他	6,930	10,000
昇段 記念品	39,555	30,000
慶弔見舞	14,724	15,000
全日本出場援助金及び記念品	207,345	0
高段者剣道大会 記念品	0	30,000
その他	24,900	20,000
支出の部合計	1,522,434	998,000
次年度繰越額	505,472	637,472
平成16年6月30日現在預金、現金内訳		
みずほ銀行 渋谷中央支店	463,982	
東京三菱銀行 渋谷支店	41,490	
渋谷郵便局	0	
合計	505,472	

監査報告書

平成15年3月1日～平成16年6月30日の会計年度における当会の収入、支出に
関し調査した結果、正確であることを認めます。

監査 後藤 一於

